

Special Feature

特集

外国人介護人材確保の 方向性と可能性 育成就労制度創設へ

国内の人材不足が喫緊の課題となっている。途上国への技能移転を目的として設立された技能実習制度を廃止し、外国人材の育成就労制度創設に向けた改正法が、可決・成立した。育成就労制度では、人材確保がその目的として明記されている。人材不足を外国人の労働力で補う流れは介護も含めて不可避である。外国人介護人材確保の現状や今後の方向性と可能性について、厚生労働省の担当者と全老健の平川博之副会長に話をうかがった。

インタビュー

人手不足、国際競争を背景に 育成就労制度を創設 介護現場も待遇向上、 労働環境の整備を

吉田昌司さん

厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室 室長

児玉祐基さん

同省 人材開発統括官付 海外人材育成担当参事官室 海外人材育成対策専門官



インタビュー

独自の受け入れガイドラインづくりを計画 サービスの質の向上に向けて 新たな取り組みも

平川博之

全老健 副会長

全老健人材対策委員会 担当副会長

